

研究成果報告書

本研究は二段階に分けて行った。

第一段階では、中国の農民專業合作社が展開している農産物直売所を調査し、その実態を明らかにしたうえで、果たしている機能を分析した。

農民專業合作社による農産物直売所は野菜価格が全国的に高騰していることを背景に、価格高騰対策の一つとして国務院に奨励され、各地で数多く設立された。現在、各地で展開されている直売所の多くは規模が小さく商品種類も比較的少ないが、鮮度の高い青果物を低価格で販売しているため、地域の住民に多く利用されている。このため、直売所は市場外流通ルートとして一定の役割を果たしているといえよう。

以上研究の上で、第二段階、日本の農協主体型農産物直売所の機能、特に出荷農家の経営の変革と地域農業への影響、農協事業に対する影響について分析を行った。

調査結果によれば、農協主体型農産物直売所が設立されたことにより、出荷者の新しい収入確保の手段となっただけでなく、農業生産における農薬散布量、化学肥料使用量の減少、さらに出荷者の生産意欲の向上も見られた。また、農産物直売所ができたことにより地域農業の活性化にもつながっている。さらに、農協事業の一つで販売事業は利益確保が難しい中、農産物直売所の開設によって一定の利益を確保することができた。

本研究では、1) 日中両国の農協主体型農産物直売所は青果物市場外流通において一定の役割を果たしていること、2) 農協事業の強化につながっていること、が共通点としてあげられる。一方、中国の農民專業合作社による農産物直売所は、合作社組織自体の問題により、出荷農家への利益還元システムが形成されておらず、農家の安全性に対する認識や生産意欲の向上などに対する影響がみられないなど大きな問題点も抱えている。

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

- 1) 題名：中日農協主体型農産物直売所の実態と機能分析
- 2) 発表者名：宋 曉凱
- 3) 会議名：第六回山東経済学年会
- 4) 日時：2011年12月3日
- 5) 場所等：日照市

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

- 1) 題名：農協経営する農産物直売所の実態と機能分析
- 2) 発表者名：
- 3) 論文掲載誌：『東方学術論壇』
- 4) 掲載時期：2012年第4期(2012年12月刊行予定)

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)